

# 畜試 ニュース

Technology News and  
Information of Hokkaido  
Animal Research Center



放牧地の夏

## ご挨拶

---

いまだ低迷を脱していないと言われる北海道経済、そんな中で、北海道の畜産には、克服すべき問題点はありながらも大きな期待がかけられています。発展を続けている酪農を中心に、和牛・乳雄生産、養豚、養鶏なども着実に成果を上げています。しかし北海道畜産のあゆみをさらに確かなものにするため、何が必要なのか、何が期待されているのかももう一度問い直すことが大事です。すなわち、単に生産量を増加あるいは維持するだけでなく、環境負荷を少なく、安全性をクリアした品質の優れた道産畜産物の提供こそ、全国の消費者が北海道に求めているものではないでしょうか。

道立畜産試験場は、こうした視点に立って、生産者と消費者のニーズに積極的に応えられる試験研究に取り組みます。また、TMRセンターやコントラクターと連携した経営改善や、家畜の健康重視の「クリーン畜産」、こだわりの「オンリーワン」畜産物の生産や新規就農者・技術指導者等の研修支援にも力を発揮したいと考えています。技術・経営改善や試験研究についてのご意見・要望など遠慮なくお寄せ下さい。

(場長：田村千秋)

---